

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	“泰阜流”子ども・子育てコミュニティ活性化事業
事業主体	泰阜村
(連絡先)	0260-26-2216
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,909,592 円 (うち支援金：3,044,000 円)

実績

子ども達が生き生きと輝きながら本物の学力や人間力を育んでいくため、泰阜村の豊かな自然、地域コミュニティ、暮らしを活かしながら、家庭・保育所・小中学校・地域が一緒になって育てていく機運を高めていく。

- ・子どもの森づくり活動：7月～2月
- ・尾木ママ講演会：11月12日
- ・映画「夢みる小学校」上映会・講演会：12月10日



【尾木ママの講演会の様子】

【目標・ねらい】

- ①子どもたちが自然の中で主体的に学ぶことへの意義や必要性の理解を深め、子どもたちが生き生きと育つ環境を充実させていく機運を高める。
- ②地域の人達が子どもたちに関わることの意義や必要性の理解を深め、地域みんなで子どもたちを育てていく機運を高める。

事業効果

①尾木ママ講演会のアンケートでは「自然体験で子どもが様々な力をつけていると思う」に「思う」と答えた割合が、事前に75%だったのが事後で98%に増加した。

映画「夢みる小学校」のアンケートでは「子どもが自主的に学ぶことを大切にしたい」に「思う」と答えた割合が事前に92%だったのが事後で94%、「子どもが体験から学ぶことを大切にしたい」に「思う」と答えた割合が事前に87%だったのが事後で96%と若干増加した。また自由記述では「山での遊び方を学びたい」「原体験の大切さを保護者等にも伝えたい」等の声も聞かれ、自然の中で主体的に活動することへの機運の高まりがみられる。

②尾木ママ講演会のアンケートでは「地域の人達が子どもに関わることは子どもが自分の住む地域を好きになると思う」で「思う」と答えた割合が、事前に74%だったのが事後で87%に増加した。

映画「夢みる小学校」の昼食交流会では「コミュニティスクールに関わりたい」という意見や「地域住民でつながって作る活動をしたい」等、今後の活動についての話も出された。

子どもの森づくりでは、具体的に森の整備を行い形が見えてきたことにより、様々な方が興味を持って声掛けをしてくれている。協力いただける方、今後について考えアドバイスをくださる方等が徐々に増えてきている。

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・アンケート結果等より、自然体験・地域での子育て・子どもの主体的な学びへの理解が深まったと言える。
- ・3つの活動が相互に影響し合い、①②の機運が高まってきている。
- ・保護者の参加が想定よりも少なく、こどもの森への理解や、尾木ママ講演会・映画「夢みる小学校」での共通理解があまりできなかったことは今後の課題。

今後の取り組み

・3つの活動を通じて「原体験」「地域みんなで子どもを育てること」「子どもの主体的な学び」の機運が高まり、次につながる様々な意見が出された。その流れや出された意見を大切にし、村の子どもたちが生き生きと育つ環境を地域全体でつくっていききたい。コミュニティスクール等も活用しながら、様々な立場で共に話し合い、実際に動きだしていききたい。

・今回の3つの活動では、保護者の方の関わりが想定よりも少なかった。子どもの森では、実際に子どもたちが遊ぶことを通じて、保護者の人達にも理解や協力を広げていききたい。今後も、子ども達に関わる人たちで話せる場を意識して作り、連携して共通理解を深め、それを保護者や地域の方へ広げていききたい。

・子どもの森は、次年度以降も整備を継続。(クローバーの植付等)